



“みんなが育つ”学校づくり

若手教員の資質・能力の向上を目指して

～メンターチームでの取組による成果と課題～

令和3年度、竹屋小学校と江波中学校に研究協力校としてご協力いただき、「メンターチーム」と「自己マネジメントシート」を活用した、若手教員の資質・能力の向上を目指した研究を進めてきました。

これまでの通信で、目標をメンターチームで共有するための竹屋小学校の意図的・計画的な取組や、メンターとメンティのペアをつくり、互いに学び合う江波中学校での実践について紹介してきました。

今回は、本年度の研究のまとめとして、1年間の両校の取組を通しての成果と、次年度へ向けての課題を紹介いたします。ぜひ校内人材育成や学校組織の活性化の活用ヒントとしてください。

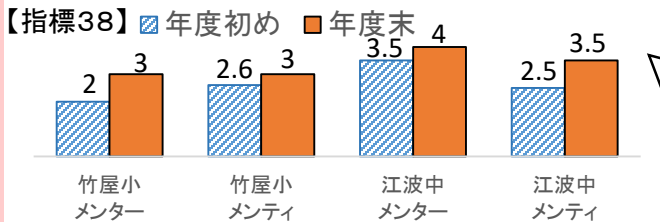
「メンターチーム」「自己マネジメントシート」を活用した取組による成果

年度初めと年度末に、竹屋小学校、江波中学校の校長先生に、メンター、メンティの成長の様子を育成指標を基に記録していただきました。今年度はコロナ禍の影響もあり、予定していた活動を行うことが難しい状況もありましたが、その中でも日々の関わり合いを通じたメンター、メンティの成長を感じておられることが分かりました。指標を基に、メンターとメンティ共に向上が見られたと考えられる資質・能力を紹介し、向上につながった取組やそのポイントについてお伝えします。

①同僚の良さを見取り、関わり合う力

指標38 同僚の特性や良さを見取り、それらを生かしたよりよい「チーム学校」づくりに貢献することができる。

育成指標を基にした校長先生による評価(4件法)



メンターチームで目標の共有

メンターチームで集まり、話し合う場を設定することが、課題を共有し合ったり、お互いのよさを認め合ったりすることにつながりました。

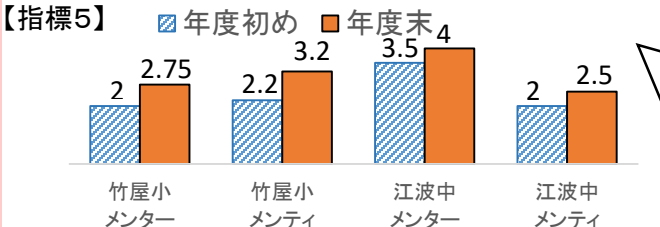
メンターとメンティが集まり、設定した目標を共有することで、目標に込められた思いや願いを確認し合うことができました。



②向上心を持ち、常に学び続ける力

指標5 常にチャレンジ精神や向上心を持ち、新たなことを取り入れるための研修に参加するなど自己研鑽に努めることができる。

育成指標を基にした校長先生による評価(4件法)



自己マネジメントシートの活用

自己マネジメントシートを活用して、メンターからメンティに、設定した目標に対する励ましや肯定的な言葉をかけることが、メンティの前向きな気持ちにつながりました。

積極的に子どもに声をかけていますね。先生が一人一人を大切にしているのが伝わってきます。



気がかけていた子どもが困っているときに、相談に来てくれるようになりました。

このように、「メンターチーム」と「自己マネジメントシート」を効果的に活用することにより、メンター・メンティ双方の資質・能力が高まっていくことが、両校の実践から明らかになってきました。

次年度へ向けて：目標の達成につながる学び合いに向けて

自己マネジメントシートや育成指標による評価やインタビューから、次年度は、メンターチームで共有した目標の達成に向けた学び合いをより充実させていくことが課題と捉えています。今年度、「自分が目指す姿や具体的な取組に悩んでいたときに、メンターの〇〇先生が自分のよさを引き出してくれた。」と話すメンティや、「メンティの目標につながるアドバイスができるよう、自分も学んでいきたい。」と話すメンターがいました。このように、メンターとメンティで目標とする姿に近づくための学び合いをより充実させ、資質・能力を高めていくために次年度の研究も継続していきます。そのためのポイントを以下のように考えています。

- ・ 経験豊富なミドルやベテランを巻き込み、学校全体で関わり合う体制づくりを支援すること
- ・ 目標や取組を日常的に共有し合えるよう、自己マネジメントシートを改善すること

教育センターでは今後も引き続き、若手教員同士が学び合いながら資質・能力を高めることができる校内OJTについて研究を進め、情報発信していきます。